

西村陽吉 にしむら かげきち 歌人。明治二十五年四月九日東京生れ、昭和二十四年二月二十一日歿（八九二―一九五九）。舊姓江原、本名辰五郎。號東雲堂主人、江原小徑、江原燈影、江原臨川、江原芒徑、江原蘆村、牧芝、芒路、西村小徑、陽、陽吉等。明治二十七年高等小學校を卒業（き）東雲堂書店に入店、四十一年店主西村寅次郎の養子となる。爾後出版業の傍ら自らも生活派歌人として活動。

著譯書『二十一篇』(西村小徑名、合著・田山花袋選、明治四十一年一月一日東雲堂書店)、歌集『都市生活者』(大正五年七月十日東雲堂書店「生活と藝術叢書」)、同『街路樹』(大正八年四月二十五日東雲堂書店「新歌集叢書」)、『新社會への藝術』(大正十一年二月一日東雲堂書店)、『現代口語歌選』(青山穰村共選、大正十一年十一月十日東雲堂書店)、歌集『第一の街』(大正十二年七月十五日紅玉堂書店)、モーリス・ルブラン作『怪人對巨人』(本名、譯、大正十二年八月十日金剛社・紅玉堂書店「怪奇探偵ヤルセータ・ルパン」)、『歌と入石川歌本』(昭和四年十月一日紅玉堂書店「紅玉堂文庫」)、歌集『舗道の歌』(昭和七年八月十七日素人社書屋)、『このちの自覺』(昭和十二年二月二十五日厚生閣書店)、『緑の旗』(昭和十四年二月一日作歌社)、『新大新地』(昭和十七年四月十五日光明思想普及會)、



『大照らう大神』著

『神話神話の本質』(昭和二十二年二月二十一日)

『白雲社』(昭和二十二年二月二十一日)

『白雲社』(昭和二十二年二月二十一日)

